

4 外国人の労働力状態

(1) 国籍別にみた15歳以上人口の労働力状態

～「主に仕事」は中国が最も多い～

本県に居住している15歳以上の外国人の労働力状態をみると、最も多いのは「主に仕事」の2,252人（15歳以上外国人（労働力状態「不詳」を除く。）の66.7%）で、次いで「通学」の326人（同9.7%）、「家事」の322人（同9.5%）などとなっています。

これを国籍別にみると、「主に仕事」が最も多いのは中国の953人で、次いでインドネシアの256人、フィリピンの235人などとなっています。「通学」が最も多いのは中国の155人、次いでベトナムの35人、韓国、朝鮮の30人などとなっています。「家事」が最も多いのは中国の89人、次いでフィリピンの80人、韓国、朝鮮の63人などとなっています。

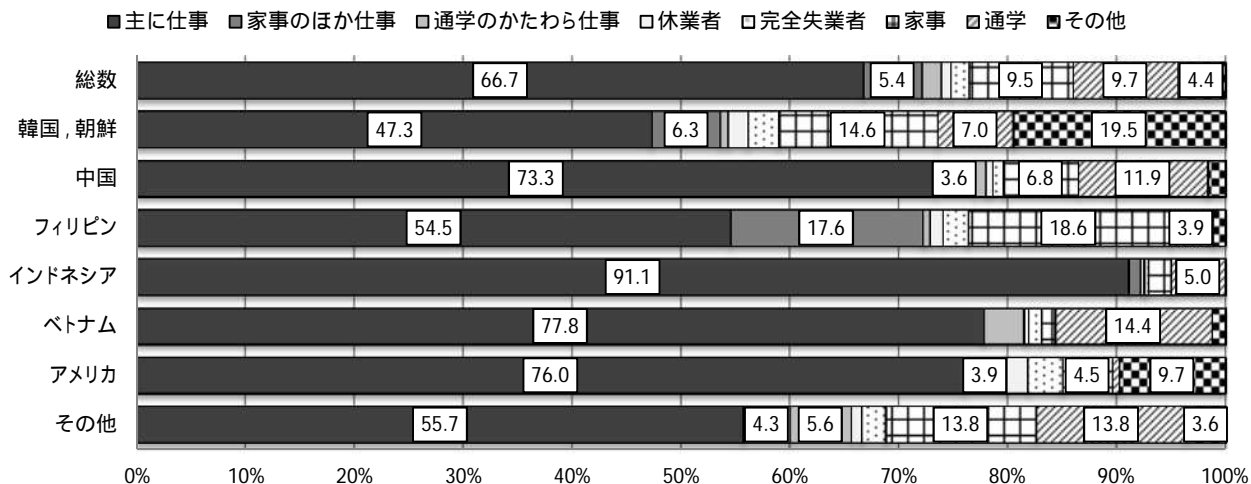
（図4-1、表4-1）

表4-1 国籍別、労働力状態別15歳以上人口（平成27年）（人、%）

国名	総数 1)	労働力人口							非労働力人口			
		総数	就業者					完全失業者	総数	家事	通学	その他
			総数	主に仕事	家事的ほ か仕事	通学のか たわら仕 事	休業者					
【実数】												
総数	3,500	2,580	2,524	2,252	182	59	31	56	795	322	326	147
韓国,朝鮮	451	254	242	204	27	3	8	12	177	63	30	84
中国	1,323	1,035	1,022	953	47	14	8	13	265	89	155	21
フィリン	448	329	319	235	76	3	5	10	102	80	17	5
インドネシア	282	261	260	256	3	0	1	1	20	6	14	0
ベトナム	244	202	199	189	0	9	1	3	41	3	35	3
アメリカ	165	131	126	117	6	0	3	5	23	7	1	15
その他 2)	587	368	356	298	23	30	5	12	167	74	74	19
【割合】 3)												
総数	100	76.4	74.8	66.7	5.4	1.7	0.9	1.7	23.6	9.5	9.7	4.4
韓国,朝鮮	100	58.9	56.1	47.3	6.3	0.7	1.9	2.8	41.1	14.6	7.0	19.5
中国	100	79.6	78.6	73.3	3.6	1.1	0.6	1.0	20.4	6.8	11.9	1.6
フィリン	100	76.3	74.0	54.5	17.6	0.7	1.2	2.3	23.7	18.6	3.9	1.2
インドネシア	100	92.9	92.5	91.1	1.1	0.0	0.4	0.4	7.1	2.1	5.0	0.0
ベトナム	100	83.1	81.9	77.8	0.0	3.7	0.4	1.2	16.9	1.2	14.4	1.2
アメリカ	100	85.1	81.8	76.0	3.9	0.0	1.9	3.2	14.9	4.5	0.6	9.7
その他 2)	100	68.8	66.5	55.7	4.3	5.6	0.9	2.2	31.2	13.8	13.8	3.6

- 1) 労働力状態「不詳」を含む。
 2) 無国籍及び国名「不詳」を含む。
 3) 労働力状態「不詳」を除く。

図4-1 国籍別、労働力状態別15歳以上人口割合（平成27年）



(2) 国籍別、男女別にみた主な産業大分類別就業者

～「製造業」は男女共に中国が最も多い～

15歳以上外国人就業者について産業大分類別の割合を見ると、「製造業」が32.8%と最も高く、次いで「農業、林業」が15.8%、「教育、学習支援業」が9.6%などとなっています。

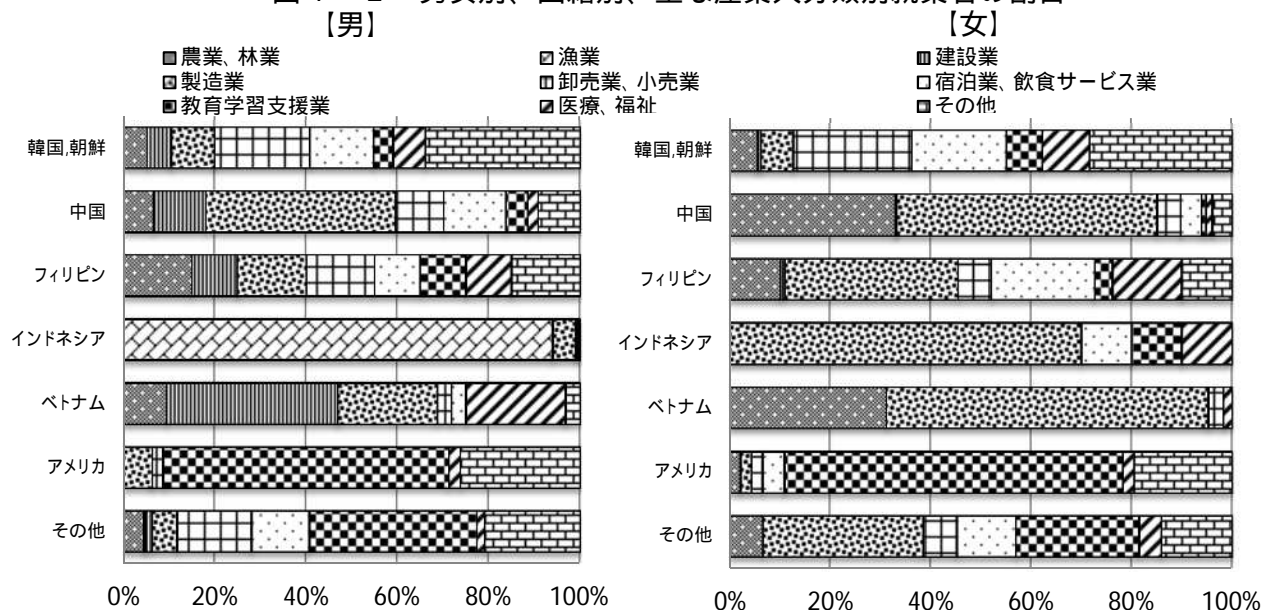
男女、国籍別にみると、「製造業」が最も多いのは男女共に中国となっており、男性は95人、女性は412人となっています。

(図4-2、表4-2)

表4-2 男女別、国籍別、主な産業大分類別就業者数及び割合(平成27年) (人、%)

総数、男女、国名	総数	農業、林業 割合	漁業 割合	建設業 割合	製造業 割合	卸売業、小売業 割合	宿泊業、飲食サービス業 割合	教育、学習支援業 割合	医療、福祉 割合	その他 割合
総数	2,524	398 15.8	236 9.4	55 2.2	827 32.8	193 7.6	215 8.5	242 9.6	102 4.0	256 10.1
韓国、朝鮮	242	13 5.4	0 0.0	7 2.9	19 7.9	54 22.3	40 16.5	14 5.8	20 8.3	75 31.0
中国	1,022	277 27.1	0 0.0	28 2.7	507 49.6	61 6.0	64 6.3	18 1.8	15 1.5	52 5.1
フィリピン	319	33 10.3	0 0.0	5 1.6	106 33.2	23 7.2	63 19.7	13 4.1	43 13.5	33 10.3
インドネシア	260	0 0.0	235 90.4	0 0.0	20 7.7	1 0.4	1 0.4	2 0.8	1 0.4	0 0.0
ベトナム	199	55 27.6	0 0.0	12 6.0	114 57.3	6 3.0	1 0.5	0 0.0	10 5.0	1 0.5
アメリカ	126	1 0.8	0 0.0	0 0.0	6 4.8	3 2.4	2 1.6	81 64.3	3 2.4	30 23.8
その他	356	19 5.3	1 0.3	3 0.8	55 15.4	45 12.6	44 12.4	114 32.0	10 2.8	65 18.3
男	946	37 3.9	236 24.9	49 5.2	146 15.4	91 9.6	78 8.2	150 15.9	28 3.0	131 13.8
韓国、朝鮮	115	6 5.2	0 0.0	6 5.2	11 9.6	24 20.9	16 13.9	5 4.3	8 7.0	39 33.9
中国	228	15 6.6	0 0.0	26 11.4	95 41.7	24 10.5	31 13.6	11 4.8	5 2.2	21 9.2
フィリピン	20	3 15.0	0 0.0	2 10.0	3 15.0	3 15.0	2 10.0	2 10.0	2 10.0	3 15.0
インドネシア	250	0 0.0	235 94.0	0 0.0	13 5.2	1 0.4	0 0.0	1 0.4	0 0.0	0 0.0
ベトナム	32	3 9.4	0 0.0	12 37.5	7 21.9	1 3.1	1 3.1	0 0.0	7 21.9	1 3.1
アメリカ	80	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 6.3	2 2.5	0 0.0	50 62.5	2 2.5	21 26.3
その他	221	10 4.5	1 0.5	3 1.4	12 5.4	36 16.3	28 12.7	81 36.7	4 1.8	46 20.8
女	1,578	361 22.9	0 0.0	6 0.4	681 43.2	102 6.5	137 8.7	92 5.8	74 4.7	125 7.9
韓国、朝鮮	127	7 5.5	0 0.0	1 0.8	8 6.3	30 23.6	24 18.9	9 7.1	12 9.4	36 28.3
中国	794	262 33.0	0 0.0	2 0.3	412 51.9	37 4.7	33 4.2	7 0.9	10 1.3	31 3.9
フィリピン	299	30 10.0	0 0.0	3 1.0	103 34.4	20 6.7	61 20.4	11 3.7	41 13.7	30 10.0
インドネシア	10	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 70.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0
ベトナム	167	52 31.1	0 0.0	0 0.0	107 64.1	5 3.0	0 0.0	0 0.0	3 1.8	0 0.0
アメリカ	46	1 2.2	0 0.0	0 0.0	1 2.2	1 2.2	2 4.3	31 67.4	1 2.2	9 19.6
その他	135	9 6.7	0 0.0	0 0.0	43 31.9	9 6.7	16 11.9	33 24.4	6 4.4	19 14.1

図4-2 男女別、国籍別、主な産業大分類別就業者の割合



注) ここでいう産業の「その他」は、「鉱業、採石業、砂利採取業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「運輸業、郵便業」、「金融業、保険業」、「不動産業、物品賃貸業」、「学術研究、専門・技術サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「複合サービス事業」、「サービス業(他に分類されないもの)」、「公務(他に分類されるものを除く)」の合計である。